

整理番号 00810

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等） **Quartz Wool (Filtering Fiber)**

クォーツ ウール（フィルタリング ファイバー）

販売者情報	会社	LECO ジャパン合同会社		
	住所	〒105-0014 東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号 住友不動産芝ビル 4 号館		
製造者情報	担当	SDS 担当者		
	電話番号	(03) 6891-5800	FAX 番号	(03) 6891-5801
	会社	LECO Corporation		
	住所	3000 Lakeview St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.		

### 2. 危険有害性の分類

分類の名称	: GHS 分類
物理化学的危険性	分類基準に該当しない
健康に対する有害性	分類基準に該当しない
環境に対する有害性	分類基準に該当しない

### 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名	フィラメントアモルファス溶融シリカ
成分および含有量(wt%)	>99
化学式又は構造式	SiO <sub>2</sub>
官報公示整理番号	
化審法	(1)-548
安衛法	通知対象物 312
PRTR 法	対象外
C A S No	60676-86-0
国連分類及び国連番号	該当しない

## 4.応急措置

吸入した場合：物質を吸入した場合、新鮮な空気の場合沙穂へ移動させる。症状がひどくなるまたは長引く場合は医師に連絡する。

皮膚に付いた場合：すぐに大量の水で15分以上洗い流す。症状がひどくなる/長引く場合は医師に連絡する。

目に入った場合：すぐに大量の水で15分間以上目を洗い流す。刺激がひどくなる/長引く場合には医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：入手不可

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状：ダストが気道、皮膚、眼に刺激を起こすおそれがある。

## 5.火災時の措置

消火剤	：周辺火災に応じた消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	：入手不可
消火を行う者の保護	：自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。
消火機材/方法	：火災又は爆発の際はヒュームを吸入しないこと。
特有の消火方法	：他の物質も考慮した通常の消火方法をとる。
通常の火災危険	：異常な火災や爆発は知られていない

## 6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外を近づけない。ダストを吸入しない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	ダストの発生、蓄積を最小限にする。こぼれたものは掃きとるかHEPA フィルターを備えた掃除機で吸い取る。
環境に対する注意事項	排水、水路、地面への放出を防ぐ。

## 7.取扱い及び保管上の注意

安全取扱い注意事項	ダストの発生、蓄積を最小限にする。ダストが発生する場所には適切な換気を設ける。ダストを吸入しない。眼への接触を防ぐ。長期的な暴露を防ぐ。産業衛生に気を配る。
安全な保管条件	換気の良い場所に保管する。混触危険物から遠ざける（第10項を参照）。

## 8. 暴露防止措置

許容濃度(暴露限界値)

US. OSHA TableZ-3 (29 CFR 1910.1000)

成分	タイプ	値
二酸化ケイ素 (アモルファス) (CAS 60676-86-0)	TWA	0.8 mg/m <sup>3</sup> 20 mppcf

US. NIOSH: Pocket Guide to Chemical Hazards

成分	タイプ	値
二酸化ケイ素 (アモルファス) (CAS 60676-86-0)	TWA	6 mg/m <sup>3</sup>

生物学的限界値

生物学的暴露限界値は設定されていない。

設備対策

取扱や熱加工等で発生するダスまたはヒュームを効率的に取り除き蓄積を防ぐため、十分な換気を行う。設備によって限界値以下に抑えることが難しい場合は個人保護具を着用する。

保護具

眼/顔の保護	サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。アイウォッシュと緊急シャワーが推奨される。
皮膚の保護	
手	適切な耐薬品グローブを着用する。
その他	適切な耐薬品保護衣を着用する。
呼吸器の保護	換気が十分でない場合、認証済みの呼吸器を使用する。
熱的危険	必要な場合熱保護衣を着用する。
一般的な衛生事項	取扱後、飲食喫煙前の手洗いなど常に衛生に気を配る。仕事着、保護具類は定期的に洗濯、清掃する。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観

物質の状態	固体
形状	繊維
色	オフホワイト
臭い	なし
臭気限界	入手不可
pH	入手不可
融点・凝固点	入手不可
沸点、初留点と沸騰範囲	2230°C 推定

引火点	入手不可
蒸発率	入手不可
燃焼性(固体、ガス)	入手不可
燃焼または爆発範囲	入手不可
燃焼範囲-下限(%)	入手不可
燃焼範囲-上限(%)	入手不可
爆発下限界(%)	入手不可
爆発上限界(%)	入手不可
蒸気圧	10 mmHg@1732°C 推定
蒸気密度	入手不可
相対密度	入手不可
溶解度	水に不溶
n オクタノール/水分配係数	入手不可
自然発火温度(発火点)	入手不可
分解温度	入手不可
粘度	入手不可
その他の情報	

比重 2.2

## 10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は通常の条件の使用、保管、輸送において安定で非反応性
化学的安定度	通常の状態安定
危険有害反応可能性	有害な重合は起こらない
避けるべき条件	ダストが空気中に放出されないようにする（圧縮空気でダストを吹き飛ばしたりしない）。混触危険物質との接触を防ぐ。
混触危険物質	フッ素、塩素
有害な分解生成物	入手不可

## 11. 有害性情報

### 起こりうる暴露についての情報

吸入	ダストの吸入により呼吸器に刺激が起こる場合がある。長期的な吸入性ダストへの暴露は肺の損傷や疾病を起こすおそれ。
皮膚	皮膚に刺激を起こす。
眼	眼にダストが入ると刺激をおこす。
飲み込んだ場合	飲み込みが職業的暴露の主要な経路となることは考えにく

物理的、化学的、有害性特性に  
 関連した症状  
 毒物学的影響  
 急性毒性  
 成分

い。  
 鼻とどのの刺激

二酸化ケイ素（アモルファス）  
 （CAS 60676-86-0）急性

経口

LD50

マウス

>15000 mg/kg

ラット

>22500 mg/kg

\*製品への評価にはデータとして記載されていない成分が含まれている場合があります。

皮膚の腐食/刺激

入手不可

重篤な眼の損傷/眼刺激

入手不可

呼吸器または皮膚感作性

呼吸器感作性 呼吸器感作性なし

皮膚感作性 入手不可

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

IARC,ACGIH,NTP,OSHA において本製品に発がん性がある  
 とは考えられていない。

IARC Monographs. Overall  
 Evaluation of Carcinogenicity

二酸化ケイ素（アモルファス）（CAS 60676-86-0）  
 3 ヒトへの発がん性があると分類できない

OSHA 特定規制物質  
 （29CFR 1910.1001-1050）

記載なし

生殖毒性

入手不可

特定標的臓器毒性（単回暴露）

分類されていない

特定標的臓器毒性（反復暴露）

分類されていない

吸引性呼吸器有害性

入手不可

長期的影響

長期的な吸入は有害のおそれ

## 12. 環境影響情報

生態毒性

本製品は環境有害性があると分類されていない。

残留性/分解性

知られていない。

生態蓄積性

データなし

土壌中の移動性

データなし

その他の有害影響

入手不可

### 13.廃棄上の注意

廃棄手順	内容物/容器の廃棄は地域/国/国際的規制に従う。
残余廃棄物/未使用製品	地域の規制に従う。空容器には製品が残っている場合がある。当該製品とその容器は安全に廃棄されなければならない。
汚染容器	空容器の再利用/廃棄には認証を受けた廃棄処理場に持ち込まなければならない。

### 14.輸送上の注意

DOT,IATA,IMDG において危険品として規制されていない。

### 15.適用法令

労働安全衛生法 : 施行令第 18 条の 2 別表第 9 (名称等を通知すべき有害物) 312 (シリカ)

### 16.その他の情報

参考文献	本製品の英文 SDS(071514)	: LECO Corporation
	JIS Z7253 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示および安全データシート	
	化学便覧	: 丸善
	職場のあんぜんサイト	: 厚生労働省
	NITE 化学物質総合情報提供システム	: 独) 製品評価技術基盤機構

作成 : 平成 13 年 6 月 8 日

改訂 : 平成 21 年 10 月 13 日(書式改訂、法令見直し)

平成 22 年 4 月 27 日 (法令見直し)

平成 23 年 7 月 11 日 (住所変更)

平成 28 年 6 月 3 日 (法令見直し、英文 SDS 改訂)

\* 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。

尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。